

日々の充実と 地域につながる教育活動へ

6月1日(火)、今年度の小・中学部運動会を実施しましたが、県の新型コロナウイルス緊急特別対策を受け、苦渋の選択でありましたが保護者の皆様には参観を控えていただきました。

当日は、一人一人がこれまでの学習の成果を発揮して、一人で走ったり、上手に友達に渡したり、応援したり、生き生きと活動できました。団体種目では、友達と協力して走ったり、全力で走り競い合ったりする場面もあり、笑顔いっぱいの運動会でした。

この様子はHPに一部掲載するとともに、6月17日、18日の授業参観日に保護者の皆様にビデオや写真で見せていただきました。学校だより6月号でも、主な場面を御紹介いたします。

そして一日も早く新型コロナウィルス感染症状況が落ち着くことを願い、以前のように保護者や地域の皆様に御参加いただける運動会を実施したいと考えております。

6月30日には県の感染症まんえん防止重点対策期間も終了になりますが、引き続き感染症対策をしっかり行ったうえで、日々の学習活動の充実と、『地域につながる教育活動』を目指して今後も取り組んでまいります。

校長 菅野 美恵子

小・中学部 運動会

「ラジオ体操」
中学3年生模範演技。



小学部1年生:「よーいどん」
全員しっかりと自分の走りができました。



小学部2年生:「おにたいじへ ゴー！」
平均台を上手に渡って、「おに」に当てました。



小3, 4年生:「きみこそアスリート」 ぽっくり、平均台、ハードル
越えをしてから、トーチを受け取り、次の選手につなぎました。



小5, 6年生:「たむリンピック」陸上や体操等の個別種目に挑み、金メダルを受け取った後には、ウィングラン!



中学部:「ボール送りリレー」ボールを持って走り、座ってつなぐ、最後までチームワーク抜群!



小1, 2, 3, 4年:
2人1組「棒渡しリレー」



小学部5, 6年、中学部全員:「バトンリレー」練習するごとに白熱接戦に。本番は、紅白引き分けでした。



裏面へ

地域の皆様の 御支援に感謝いたします。



春山小学校のテントを
引き継いでいます。

令和元年度に後援会より御寄附
いただき、今回初使用しました。



コロナ禍ではありますが、今年度も継続して、地域の専門家の皆様に御支援をいただきながら、体験的な学習を行うことができます。

「畑の学校」開校式



春山校舎：小中学部では、今年度も農林事務所との連携事業『畑の学校』に取り組みます。畑は、春山地区の松本様からお借りしており、学校隣の渡辺様に機械で耕していただきました。6月11日（金）の「開校式」には、松本様と県中農林事務所等の皆様に来校していただき、一人一人に植え方等を指導していただきました。



小学部1年、2年生は、ポットに土を入れて、ニンジンの種をまきました。小学部3、4、5、6年生と中学部生は、畑に行き、里芋の苗を植えました。年間5回の活動で、4種類の野菜を植えて、豚汁にして味わう予定です。

「農福連携事業」



石崎校舎：高等部では、作業学習で JA 福島中央会や JA 福島さくらの職員の方々と地域の農家の方々を講師にお迎えして、「農福連携事業」を実施しています。



昨年度、土壌検査などしていただき、土地に適した野菜を調べ、植えたい野菜を話し合いました。

今年5月には、苗を植えました。今後も収穫まで定期的にご指導をいただき、収穫した野菜を販売する活動も予定しています。

講師の方に「野菜は目をかけ、手をかけ、責任をもって育てることが大切である。」と、野菜を育てるにあたっての心構えなどのお話もいただき、心を込めて作業に取り組んでいます。

(文責 校長 菅野 美恵子)

